

りまで致しますよ」
とにこ〜くしていらした。

食後の散歩は私達の娯樂の一つだ。夕暮きの町を離れた西片町を、から橋の邊から一週するのは本舎に居ては味ひ得ぬ所である。學者町の夕暮、薄明の光に表札を読むのも一種の興味がある。時には静かな琴の音も流れて来る。夢の様なローマンスを思ひながら、はた勝手な熱を吹きながら二人三人、このゆかしい通を占領し得るは實に嬉しい。

黙學の鐘がなる、暫くすると建物全体が沈黙に入つて了ふ。世界はたゞ自分ある許り、稍獨座に近い感を得られないでもない。ハラリと返す頁の音、快く走るペンの音、其音に一輪ざしのひなげしがゆらぐ。この静けさとこのロマンチックな花の匂とが、しつくり合つてこゝに森川町の夜の氣分があらはれる。あゝどうして半町出れば瓦斯の灯がかがよふ電車道があると思へよう。終りの鐘がなる。塵拂ふとて觸れる電燈の球のぬ

くもり。私達は顔を見合せて静かに笑ふ。樂しげなさゝめきが洩れて来る、お隣か、食堂か、沈黙は柔らかなさとなつかしさで色付けられる、而かも尙中心は依然として静である、やがて消燈の偉大な深い沈黙が、のつそりやつて来る、窓は一つ〜暗の中に融け去つて七時間の深い睡に入つたふ。(5.26)(S)

(二) 女子教育に関するもの

明治

成瀬仁藏 女子教育 嵩山堂 二九 二 四〇
諸名 士 教育大家女子教育論集 普及社 三〇 一一 五〇

○育成會 實驗教育叢書第四編 近世女子教育法 同文館 三二 二 二五

○下田次郎 女子教育 金港堂 三七 二二、〇〇

村上專精 女子教育管見 金港堂 三八 二 四五

澤田順次郎 女子教育論 讀賣新聞社 四〇 一〇 四五

○ラスキン原著 女子の本分 金港堂 四一 八 三〇

○下田次郎譯 女子教育に就いて六合館 四二 二

小野竹三 女子教育に就いて六合館 四二 二

西山慈治 お花は如何にして教育すべきか 金港堂 四四 七 三五

○谷本富 女子教育 實業之日本社 四四 一一、〇〇

フエノン原著 女子教育論 金港堂 六〇

大木太藏譯 女子教育論 金港堂 六〇

土屋つね

愛知縣

一、名古屋史談(庵原小金吾)

なごやまつり(伊勢門水)

愛知縣紀要(愛知縣)

愛知縣寫眞帖(愛知縣)

愛知縣案内(名古屋經濟會)

二、無し

三、婦人會(松操會……松の操月刊)

大正義會 一德會 市立第一幼稚園母の會

四、無し

岩手縣

初鹿野とみ

一、郷土の地理に關しては當地等は何等見るべきものも之無くやはり地名辭書位のものに候はん

歴史は南部史要(原敬著)平泉誌などいふもの之

有るのみ其他言語文學土俗等の編輯物なども見

あたらず他に比して非常に未開の様感じ申候

二、無し

三、社會教育としては通俗講演會時々開かれ先日も

久留島先生を聘し候其他は之無く候

四、習字は私は大体に於て校長先生の御説御もつと

もと存じ申し候

イ、字體は楷一體にては余に限られて不便な

らずやと考へ居り候只三体までの必要はな

く楷草の二體位にては如何にやと存じ候

ロ、字の大ききにつきては校長先生の御説の通り

りと切に存じ候されど新入學して一年間は

生徒は大きく習はしむる方よろしからんと

存じ候

作文は自分が教へて見て切に複雑なるをうるさ

く感じ申候校長先生の御説御尤と存じ居り候

山口縣

佐藤たみ子

一、柳井案内 神田靜江氏校閱 鎌倉孤燈編

山口縣各地の分はそれ〜各校より報導ある

べきと考へられ候につき當地の分文申上候

二、無し

三、佛教婦人會 放光婦人會 柳井婦人會は企圖中

にて近々開かるゝ筈に候

四、習字は細字練習に重きを置き作文は國語教科等

と相關連して課するも下級生には書牘文の國語

文を多くし上級生には普通文と半々にし其十分

の一宛論文を課する意見との事に候

■島根縣 飯島 貞

一、島根縣史要(著作者藤本充安)

二、島根縣舊藩美蹟(島根縣内務部)

三、無し

四、無し

■茨城縣 目良かね 竹尾恵子

一、常陸國誌(中山信名著、栗田寛増補)

方言集覽(板垣源次郎其他)

二、東湖全集、其他

三、婦女會(下婢のため一週一回女子師範内にて國語算術裁縫作法を授く)

四、無し

■石川縣 櫻蔭會員

一、石川縣地理詳説(石橋喜太郎)

二、三、無し

四、中川先生の御意見至極賛成に御座候

■東京市 穂積 銀

二、端書にては悉しがたし他日御報申上べし

三、盲人教育會(築地三丁目、盲人に獨立自營の基を立てしむ)。救世軍。二葉幼稚園。東京女囚携帶乳兒保育所(三の一五)。神田區婦人會(區役所内貧兒の學用品補助)。私立庶民夜學會(麻布區)。福田會育兒院(麻布竿町一〇三)。清惠幼女學會(永坂町、孤兒を收容して自活の道を開く)

東京育成團(赤坂區青山南町一〇五)。無料宿泊所(本所若葉町、下層労働者保護)。第二無料宿泊所(深川西町四一)。同善會(下谷北稻荷町三)

二盛建寺、貧兒教育)。愛國婦人會。玫瑰塾(小石川關口台町一九、貧兒孤兒を收容して教育し且實業を得しむ)矯風會(社會風紀改善)以上會の種類

慈善(基督教青年會の機關雜誌)。婦女新聞。

四、無し

■香川縣 中川 絹重

一、香川縣史善行錄(香川縣)。歷朝要記(高松藩者信閣)。全讃史(中山城山)。讃岐國官社考證(松岡調)。南海治亂記、南海通記(香西成資)。讃岐

字の大きさは大字を學はしむる必要はなかるべく實用に適する細字を練習せしむる方よかるへしと存候

作文は口語躰が勢力を増し居り候へば近き將來に於て一般に口語躰を用ふるに至るべく、されば普通教育に於きては口語躰を採用する方適切ならんと存候文は公用文に用ひられ候が他には必要ならんと存し候

■熊本縣 栗崎とどき 堀尾とめ 池邊芳江

一、肥後國吉

ロ、藤公遺蹟(加藤清正公の事蹟を記せしもの)

ハ、藩譜探要

ニ、肥後文獻叢書 著者 古城貞吉

肥後の文獻を保存する爲古人の遺書を集めたるもの六卷

ホ、肥後先哲遺蹟一冊 著者 武藤巖男

ヘ、熊本藩國事史料全一冊 細川家史料編纂主任 小林元雄

ト、肥後藩國事史料一上下、二上下、三全

名勝圖繪(梶原藍渠)。讃岐全史、讃岐往還繪圖、讃岐各郡繪圖(伴善作)。讃岐大日記(友安盛員)

二、三、四無し

■静岡縣 佐津川文字

一、大正風土記(當地新聞社發行、郷土研究)生徒には夏休み課題として各自出生町村の地理歴史の研究をいたさせ居り候

二、地理教授の復習として地圖練習(各自書用紙の帳面に地勢圖、政治圖兼用のものを地方別に畫かしめ摘要を記入せしめ居り候)猶時々空想旅行をいたさせ候別封にて御送附申上候間御覽下され度候。

三、四無し

■新潟縣 關 玄 人

一、三無し

二、本年度より文法教科書を用ひしめず文法を一枚の表となし其表を講讀時間に常に携帶せしめて参照せしめ居り候

四、習字の字躰は日常必要なる一躰を充分に練習せしむる方實用的ならんと存じ候